



LiVエンジニアリング株式会社

2024 年度 環境経営レポート

(対象期間 2024年6月1日～2025年5月31日)

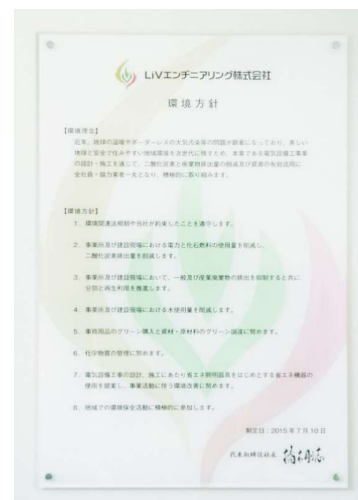
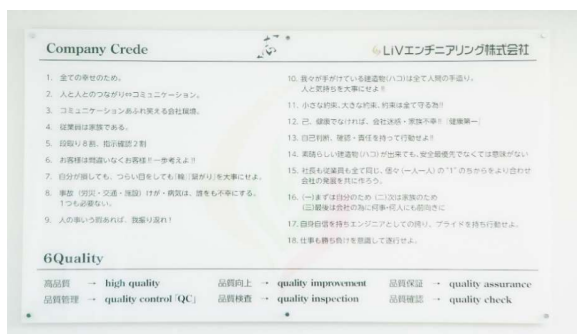


環境省
エコアクション21
認証番号 0010998

作成日: 2025年6月4日

目 次

項 目	ページ
◇環境経営方針◇	3
◇組織の概要◇	4
◇認証・登録の対象組織・活動◇	4
◇環境経営組織図及び役割・責任・権限表◇	5
◇主な環境負荷の実績◇	6
◇環境経営目標及びその実績◇	6
◇環境経営計画の取組結果とその評価◇	7-9
◇環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無◇	10
◇緊急事態対応訓練◇	10
◇代表者による全体の評価と見直し・指示◇	11
◇会社周辺の清掃活動◇	11



◇環境経営方針◇

<環境経営理念>

近年、地球の温暖やボーダーレスの大気汚染等の問題が顕著になっており、美しい地球と安全で住みやすい地域環境を次世代に残すため、本業である電気設備工事業の設計・施工を通じて、二酸化炭素と廃棄物排出量の削減及び資源の有効活用に全社員・協力業者一丸となり、積極的に継続して改善に取り組めます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 事業所及び建設現場における電力と化石燃料の使用量を削減し、二酸化炭素排出量を削減します。
3. 事業所及び建設現場において、一般及び産業廃棄物の排出を抑制すると共に分別と再生利用を推進します。
4. 事業所及び建設現場における水使用量を削減します。
5. 事務用品のグリーン購入と資材・原材料のグリーン調達に努めます。
6. 電気設備工事の設計、施工にあたり省エネ照明器具をはじめとする省エネ機器の使用を提案し、事業活動に伴う環境改善に努めます。
7. 地域での環境保全活動に積極的に参加します。
8. 環境に配慮した施工方法の提案・ECO商品の資材の使用に努めます。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

制定日：2015年7月10日

改定日：2024年6月4日

代表取締役社長

楠本剛志

◇組織の概要◇

- (1) 名称及び代表者名
LiVエンジニアリング株式会社
代表取締役社長 橋本 剛志
- (2) 所在地
本社 〒664-0007 兵庫県伊丹市北野6丁目7番地13
事業所 〒664-0022 兵庫県伊丹市中野東3丁目130番
大阪オフィス 〒541-0046 大阪市中央区平野町2丁目6番1号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 代表取締役 橋本 剛志 TEL:072-785-9114
担当者 総務事業部 小野 真史 TEL:072-785-9114
- (4) 事業内容
電気設備工事、電気通信工事、防災・防犯設備工事の設計及び施工
- (5) 事業の規模
売上高 656 百万円(2024年度)
- | | | | |
|-------|----------------|--------------------|---------------------|
| | | 本社・事務所 | 大阪オフィス |
| 従業員 | 名 | 14 名 | 無人 |
| 延べ床面積 | m ² | 231 m ² | 57.95m ² |
- (6) 事業年度 6 月 1 日 ~ 5 月 31 日

◇認証・登録の対象組織・活動◇

登録組織名: LiVエンジニアリング株式会社
対象事業所: 本社、事業所、大阪オフィス

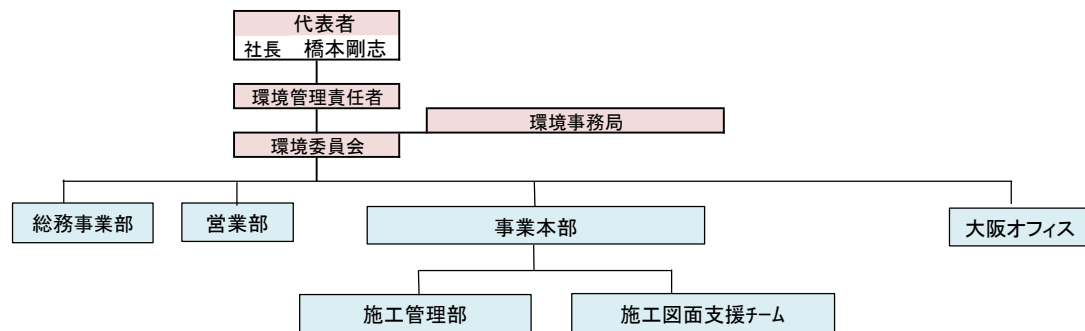
対象外:
活動: 電気設備工事、電気通信工事、防災・防犯設備工事の設計及び施工



<AED設置による安心安全な街作り>

◇環境経営組織図及び役割・責任・権限表◇

更新日： 2025年5月31日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

◇主な環境負荷の実績◇



項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	22,940	19,767	20,558
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	KG	364	280	262
水使用量	m ³	75	62	55

※二酸化炭素排出係数 0.318 kg-CO₂/kWh 2019年度の電力会社の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

◇環境経営目標及びその実績◇

年 度 項 目		基準値	2024年		評 価	2025年	2026年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	3,188	3,060	3,566	×	3,029	2,997
	基準年度比	2019年	96%	112%		95%	94%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	18,024	17,303	16,992	○	17,123	16,943
	基準年度比	2019年	96%	94%		95%	94%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	21,212	20,364	20,558		20,151	19,939
一般廃棄物の削減	kg	383	368	262	○	364	360
	基準年度比	2019年	96%	68%		95%	94%
建設副産物の再資源化率の向上	%	10%	18%	100%	○	20%	22%
	基準年度比						
水使用量の削減	m ³	75.0	72.0	55.0	○	71.3	70.5
	基準年度比	2019年	96%	73%		95%	94%
環境に配慮した設計・施工の提案	行動目標(次項による)						

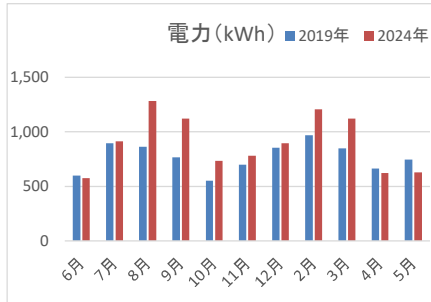
※自社からの産業廃棄物の排出はありません。

◇環境経営計画の取組結果とその評価◇

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	年々暑さが増している為、エアコンの使用を抑える事が難しくなっているが、体調に支障のない程度の温度調整や、エアコン以外の節電を心掛け、目標達成を目指していきたい。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)		
・不要照明の消灯		
・ノー残業デーの実施		
・共有できる仕事はなるべく個人に任せず、社員同士協力し残業を減らし、事務所の利用時間を削減する。		

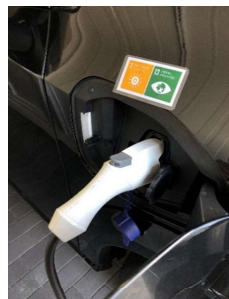
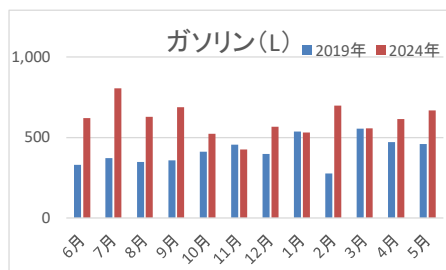


< 設定温度 表示 >



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2019年	598	897	863	767	554	698	853	1,109	967	849	664	745	9,564
2024年	575	914	1,281	1,122	735	782	897	1,331	1,205	1,122	623	628	11,215

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	遠方の現場や竣工前現場があると、やはり目標達成は厳しいが、アイドリングストップやエコドライブ活動で達成できる月を増やし、少しでもガソリン使用料の削減に繋げていきたい。
・アイドリングストップ		
・エコドライブ徹底する		
・近距離の用務には社用車を使用せずに自転車を使用し、エコを心掛ける。		

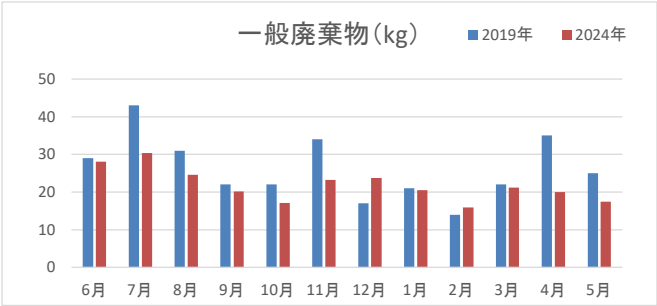


< 電気自動車 >



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2019年	330	373	348	357	410	454	397	536	277	554	471	460	4,967
2024年	620	805	628	689	522	426	567	530	699	557	614	667	7,324

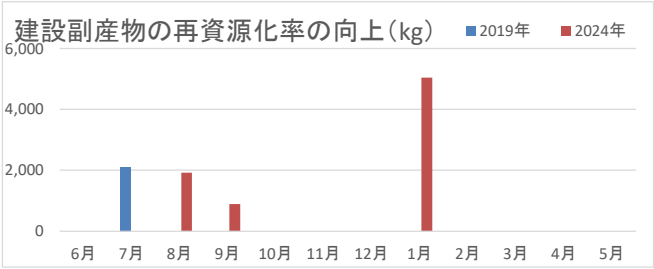
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	大幅に増えてはいないので、引き続きゴミ削減の意識を高めていきたい。
・データの中の必要な部分を確認した後に印刷をする。		
・裏紙を使用する。		
・過去ファイリング書類のデータ化とファイル再使用。		



＜ペットボトルのキャップを、ゴミとして焼却処分するのではなく
リサイクルすることで、焼却処分に伴うCO2の発生を抑制＞

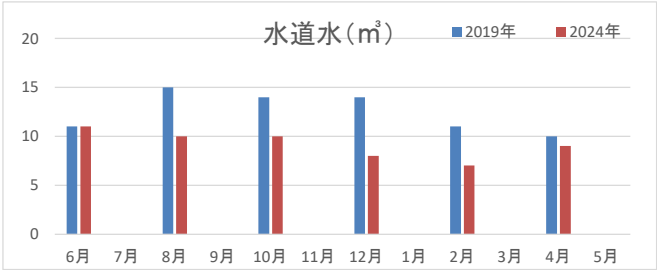
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2019年	29	43	31	22	22	34	17	21	14	22	35	25	315
2024年	28	30	25	20	17	23	24	21	16	21	20	17	262

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	発生する産業廃棄物量は請け負う工事によって変動があるので、仕方ない部分もあるかと思われる。
・分別の徹底		
・リサイクル可能な物は、廃棄せずにリサイクルする。		



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2019年	0	2,110	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,110
2024年	0	0	1,926	891	0	0	0	5,040	0	0	0	0	7,857

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	社員の節水を心掛けたことで、目標を達成することができた。これからも節水への関心を高め、目標達成を目指したい。
・トイレで擬音装置を利用		
・洗濯機利用時の適用水量の徹底		
・節水の徹底		



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2019年	11	0	15	0	14	0	14	0	11	0	10	0	75
2024年	11	0	10	0	10	0	8	0	7	0	9	0	55



環境に配慮した設計・施工の提案	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	提案できる案件あった場合は提案していきたい。
・元請工事にLED化など省エネ機器の使用を、見積提出時に提案する。		
・元請になれる工事を受注するために、積極的に入札をする。		

◇環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無◇

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

2024年5月31日

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般産業廃棄物の取扱、産業廃棄物の取扱(マニフェスト、委託契約書)
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者(アルコールチェック)
建設リサイクル法	廃棄物のリサイクル
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
自動車NOx・PM法	対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用
消防法	危険物の保管管理、消火器
フロア排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・製氷機
グリーン調達基準	自治体、元請のグリーン調達基準

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

◇緊急事態対応訓練◇

緊急事態の想定: 地震及び火災の発生	
■実施日: 2024年11月1日 ■参加者: 橋本・岩本・井上・中本・岡田・横山・木下・野瀬・堀・福島・小野・森・下西	■実施場所: 事業所 ■実施内容: ・通報訓練、消火訓練、避難訓練 手順書変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■評価: 消火器の取り扱い方と避難経路を確認できた。 持ち出しの貴重品の確認、持ち出し担当を再確認できた。 地震時に身を守る方法について話し合った。	
 	
緊急事態の想定: 地震・火災の発生	
■実施日: 2024年10月31日 ■参加者: 井上・木下・堀・中本	■実施場所: 事業所 現場事務所 ■実施内容: ・通報訓練、消火訓練、避難訓練 手順書変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■評価: 事前に避難経路を共有していたため、スムーズに避難できた。 消火器の場所、取り扱い方法を確認できた。	

◇代表者による全体の評価と見直し・指示◇

2025年5月31日

エコアクション21の環境活動も、早約10年となりました。ここ数年に関しては目標値の数値ばかりを気にして、実際の環境に配慮した有意義な活動が取れていない気がします。しかし、燃費を配慮した軽自動車の導入や、電気自動車(EV)の購入でea21活動に前向きには動いています。最終で、環境経営目標及び実績の評価が、電力が×、自動車燃料が○。やはり電気自動車(EV)導入により充電時の電気消費電力が30A(アンペア)を消費し、ガソリン量は給油しないので減になるが、電力量は増の傾向になる。結局、電気自動車(EV)導入も善し悪しかと考える。あと、毎回考えますが、環境経営計画書に一般廃棄物は事務所ゴミ、産業廃棄物は公共工事元請工事での産業廃棄物としての取り扱い。産業廃棄物処理数量は、元請工事が増えれば増えるほど目標値を上回る為、一度考えを変えなければならないと思います。皆が気軽な楽しいエコアクション21にしていきます。

環境経営方針 ☒ 変更なし

☐ 変更あり
変更内容

環境経営目標・計画 ☒ 変更なし

☐ 変更あり
変更内容

産業廃棄物処理数量は、再資源化率の向上とすることを継続する。

実施体制 ☒ 変更なし

☐ 変更あり
変更内容

◇会社周辺の清掃活動◇

月に1回会社周辺の清掃活動を実施しています。さらに今後も地域社会に貢献できるように実施していくつもりです。

